

支笏湖歴史年表(2016年4月1日版)

凡 例

- ・この年表にはそれらの時代背景を知るうえで必要な出来事も併せて記載した。
- ・アイヌ語を起源とする地名であっても現・字名は漢字表記とした。
- ・不確定な事項については末尾に「？」を付したほか、併記した。
- ・『千歳市史』、『増補千歳市史』、『新千歳市史』、新千歳市史機関誌、『志古津』各号、『苫小牧市史』（上、下）、『苫小牧民報』
- ・青文字表記は2015年中に加筆、修正した項目

さまざまな記録に出てくる全面結氷

①	明治43	1910	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972)
②	大正2	1913	北海道水産試験場千歳支場支笏湖孵化場日誌(『魚と水・2001年支笏湖が凍った理由』)
③	大正3	1914	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972)
④	昭和19	1944	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972)
⑤	昭和20	1945	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972) 佐々木金治郎伝聞談(千民2015)
⑥	昭和28	1953	PHOあり(ビジター所蔵)
⑦	昭和53	1978	陸自、道新ヘリコプターで確認・PHOあり 2回結氷2月、3月
⑧	平成13	2001	陸自、道新ヘリコプターで確認・PHOあり

元号	西暦		支笏湖関連事象
正保元年	1644	秋	松前氏広、幕府呈上『正保御国絵図』に「シコツ越え」を描く
万治元年	1658		地名「志古津」初出(『福山秘府』中「志古津弁財天小社建立」の記録)
寛文6	1666		僧円空 志古津弁天堂に自作仏像奉納
寛文7	1667	8月6日	樽前山最大規模噴火・火砕流が山麓に達し、噴煙は成層圏。降灰は苫小牧で1~2m、十勝・道東にまで
享保9	1724	7月	前年、西蝦夷地サケ不漁。東蝦夷地シコツでもアイヌに餓死者でる。松前藩、幕府に報告
元文4	1739	7月14~26日	樽前山大噴火、火砕流山麓に達し山頂にカルデラ形成。降灰は苫小牧で50~80cm
宝暦13	1763	6月	飛騨屋久兵衛(蝦夷檜材業)手代、支笏湖で怪獣に出会う
	1802	2月	幕府・蝦夷地之奉行(5月改称・函館奉行)新設 奉行に羽太正頼・戸川安論任命
文化1~14	1804~1817		樽前山中噴火、外輪山、中央火口丘が形成(正確な噴火年不明)
文化2	1805		函館奉行羽太正頼「シコツ」を「千歳」と命名
文化9	1812		狩野派画家谷文晁(たにぶんちょう)『日本名山圖會』発行、谷元旦(たにげんたん)画とされる樽前山を掲載(樽前山図画初出)
安政4	1857	7月	松浦武二郎・千歳(支笏湖周辺)周辺踏査(5回目の蝦夷地踏査)
		この年	荒井金助・村垣淡路守 石狩~千歳間道路を開削
慶応3	1867	初秋	樽前山中噴火・古期溶岩ドーム形成
慶応4(明治元年)	1868	7月	仙台藩白老元陣屋藩士が陣屋を放棄(仙台藩降伏→追討軍白老進軍情報)、ピプイのシラッチセに潜伏後、小樽から船で帰国
		9月8日	明治と改元、一世一元の制定める

明治2	1869	8月15日	千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞6村⇒胆振国千歳郡編成(蝦夷地を北海道と改称し11国86郡を置く)
		8月20日	千歳郡高知藩支配
4	1871	4月	開拓使勇払出張所開庁(千歳を管轄する初の行政機関)
		8月20日	千歳郡高知藩支配免除⇒開拓使直轄(引渡・明治5年5月1日)
		12月25日	樽前山噴火 古期(前存)溶岩円頂丘崩壊し約100mの凹地となる
5	1872	5月	開拓使千歳出張所開設(千歳管内初設置の行政機関)
		12月25日	樽前山大噴火
		この年	幌美内「太平山」碑(恵庭岳硫黄採掘安全祈願・秋田市広面赤沼三吉寺社分身)佐竹義理建立
6	1873	12月	室蘭街道(現・国道36号)開通(工事請負=伊藤一隆の父・平野弥十郎)
		この年	開拓使千歳駅通所開設
7	1874	2月8日	樽前山中噴火、古期溶岩円頂丘破壊
		2月16日	樽前山噴火 札幌方面降灰
		4月28日	開拓使千歳出張所廃止、勇払出張所所管(以後、千歳郡の所管=明治8年勇払出張所廃止し本庁民事局所管勇払詰所、明治9年民事局所管廃止し勇払分署、明治10年勇払分署廃止し本庁所管、明治13年勇払分署廃止し勇払郡役所)
8	1875		
9	1876		
10	1877		この頃、支笏湖街道(沼街道)開削(ママチ、藤の沢経由)
11	1878	9月3日	英旅行家イザベラ・バード、北日本踏査中に樽前を登山。登頂ルポを『日本未踏の地(1911年刊)』に記述(8月20-21日、白老一苦小牧周辺を歩き樽前山について記述「日本奥地紀行」(1880年刊)…樽前山欧州初紹介)
		11月	官営美々鹿肉缶詰所開設、明治13年～休業、明治17年6月廃止
12	1879		塩谷栄作が漁に来住、旅宿経営(屋号=○に駒)し、後に幌美内で温泉宿を営む(屋号=○に駒)
13	1880	3月1日	千歳外五ヶ村戸長役場開庁(千歳開庁記念日)
		8月	千歳地方バツタ大発生(十勝国バツタ大発生飛来)
14	1881	1月	開拓使札幌本庁地理課森林派出所設置、樽前官林管轄
		9月2日	明治天皇行幸(8～9月)・千歳行在所ご宿泊(新保旅館)
16	1883	10月7日	樽前山噴火 この年3回噴火(10月18日、11月15日)
17	1884		
18	1885	1月4日	樽前山噴火 この年2回噴火(3月26日)
19	1886	4月13日	樽前山噴火 この年3回噴火(4月15～16日、4月28日)
20	1887	9月3日	樽前山噴火 この年3回噴火(10月7日、10月8日)
21	1888	11月	国費で千歳鮭魚人工孵化場開設・北海道庁水産課技師伊藤一隆
22	1889	10月	支笏湖・樽前山一帯官有林が御料林に編入→支笏湖一帯は樽前御料林(苫小牧市史では1890年9月)
23			
27	1894	2月8日	樽前山噴火 この年2回噴火(8月17日)
		12月	阿寒湖カバチェッポ(姫鱒)卵支笏湖移植、支笏湖孵化場仮小屋建設 ～明治30年
		この年	鮭鱒卵孵化放流～明治29年(回帰なし)
28	1885	4月	カバチェッポ孵化稚魚初放流12万匹
29	1896	11月9日	捕魚車(インディアン水車)始動 ～12月12日
		この年	津田震一郎丸山にマッチ小函素地製造工場「北海工場」創業(エゾマツ利用、明治38年1月廃業)

30	1897	10月23日	カバチェッポ(姫鱒)初回帰確認																										
		この年	樽前山一等三角点石柱埋設(東ピーク)																										
31	1898		千歳鮭魚人工孵化場支笏湖孵化場(支笏湖事業所)開設?																										
			シリセツナイ川河口湖岸に築堤設置堤内に産床を設ける																										
32	1899		恵庭・光竜鉱山発見(ラルマナイ川支流金山沢)																										
33	1900		カバチェッポ(姫鱒)卵亀田郡漁業組合(大沼)へ分与(初分与)																										
34	1901																												
35	1902	12月	カバチェッポ(姫鱒)卵十和田湖及び大沼へ分与(道外初分与)																										
		この年	木材の搬出本格化、筏による湖上輸送始める 札幌・坂本木材が建設材として千歳川で流送(湖を筏で渡し、ネツソウからポロソウ間木製軌道、ポロソウから流送)																										
36	1903		カバチェッポ(姫鱒)卵秋田県田沢湖及び大沼へ分与																										
37	1904	9月～10月	王子製紙専務鈴木梅太郎一行、千歳川と支笏湖周辺調査 9月29日～10月2日																										
		この年	丸山地区に初造林(御料局札幌支庁苫小牧出張所、モラップ部分林東隣地315林班、クロエゾマツ山引苗3.66畝) 同地区の造林事業の始まりとされる																										
38	1905	12月	千歳村王子製紙工場誘致請願書提出																										
39	1906	2月	苫小牧村王子製紙工場誘致陳情書提出																										
		4月	王子製紙土地買収をはじめる																										
		4月7日	王子製紙千歳川水利権取得																										
		9月22日	御料局札幌支庁王子製紙に林木払下げ契約 1907年より10年間毎年8万尺(1年で中止)																										
		10月	王子製紙臨時株主総会で苫小牧工場新設正式決定																										
40	1907	9月	支笏湖請願巡査駐在所開設(請願=王子製紙、明治末期廃止)																										
		10月26日	王子製紙苫小牧工場専用鉄道(山線・王子軽便鉄道)敷設工事認可																										
		この年	王子製紙苫小牧工場、第1発電所建設材として湖畔・紋別・幌美内・奥潭・支寒内から伐出開始(関東大震災・戦時 用材として1970年まで続く)																										
41	1908	1月	山線機関車2両三井物産合弁発注(米ポーター社・9月製造)																										
		5月	王子製紙苫小牧工場建設工事着工																										
		5月	千歳川河口に線路橋架設(木製)																										
		7月15日	王子製紙・千歳川ネツソウ仮発電所落成																										
		8月12日	山線運行開始																										
		12月26日	北海道庁水産課技師・森脇幾茂カバチェッポの「姫鱒」命名提案																										
		この年	支笏湖孵化場建設(改築) 卵収容能力300万粒																										
42	1909	1月6日	「姫鱒」命名決定																										
		4月17日～19日	樽前山大噴火(溶岩円頂丘)噴出、この年、樽前山噴火5回(1月11日、3月30日、4月12日、5月15日)																										
43	1910	7月12日	王子製紙第1発電所送電開始(別表1参照)																										
		<table border="1"> <tr> <td colspan="5">(別表1)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">千歳川発電所</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">王子苫小牧工場100年史</td> <td>第1発電所案内看板</td> <td>増市史</td> <td>苫小牧市史</td> </tr> <tr> <td>第1</td> <td>1909年11月10日</td> <td>第1堰堤・水溜竣工</td> <td>1910年5月28日</td> <td>1910年9月竣工</td> <td>1909年9月11日竣工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1910年7月10日</td> <td>送電開始</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		(別表1)					千歳川発電所						王子苫小牧工場100年史		第1発電所案内看板	増市史	苫小牧市史	第1	1909年11月10日	第1堰堤・水溜竣工	1910年5月28日	1910年9月竣工	1909年9月11日竣工		1910年7月10日	送電開始	
(別表1)																													
千歳川発電所																													
	王子苫小牧工場100年史		第1発電所案内看板	増市史	苫小牧市史																								
第1	1909年11月10日	第1堰堤・水溜竣工	1910年5月28日	1910年9月竣工	1909年9月11日竣工																								
	1910年7月10日	送電開始																											

		1910年/月12日 送電開始				
		第2	1916年3月	竣工	1916年5月2日	1916年3月竣工
		第3	1918年5月10日	竣工	1918年5月10日	1918年3月竣工
		第4	1919年11月	竣工	1920年1月13日	1919年11月竣工
		第5	1941年2月6日	竣工	1941年4月7日	1941年2月竣工
		9月	王子製紙苫小牧工場操業開始			
		この年	姫鱒卵洞爺湖ほか9カ所に分与			
45(大正元年)	1912	9月12日	皇太子(後・大正天皇) 苫小牧工場視察。この日をもって苫小牧工場開業記念日とする			
		10月	第1発電所に千歳村烏柵舞特別教授所開設(後・水明小学校)			
		この年	姫鱒卵日光・中禅寺湖へ分与			
2	1913		南七条林道建設(昭和45年改線で第1縦断林道に改称)			
3	1914		筏引用船「千歳丸」5ト搬入木材の湖上輸送始まる			
4	1915	4月20日	烏柵舞、蘭越、長都、千歳4村合併⇒千歳村 千歳村2級町村制施行			
		11月	大正天皇の即位に際し、支笏湖のザリガニ2000匹?を献上(NHK=全道から2000匹)			
		12月	佐々木初太郎、丸駒温泉開業			
5	1916	3月	王子製紙第2発電所完成(別表1参照)			
		8月	田中阿歌麿、田中館秀三、小久保清治の3理学博士が湖深度、周辺地質、火山調査実施 →深度363m(ルーカス式深測器)			
		この年	王子製紙が、大正7年に訪問予定の閑院宮同妃若宮殿下を迎えるため、北海道一と言われた総檜造り貴賓館「苫小牧倶楽部別邸」(支笏湖倶楽部とも呼ぶ)を支笏湖に建設			
6	1917	4月30日	樽前山噴火。この年2回噴火(5月12日) 以後小規模噴火およそ20年間続く			
		12月	王子製紙が烏柵舞に、私立王子尋常小学校を設置(特別教授所廃止)			
		この年	樽前山標高決定⇒1024m(東ピーク)			
7	1918	5月10日	王子製紙第3発電所完成(別表1参照)			
		6月13日	樽前山噴火			
		8月25日	苫小牧倶楽部別邸皇族初宿泊(閑院宮同妃若宮殿下)1945年(昭和20年)8月の清宮貴子内親王まで皇族19回宿泊			
		この年	夕振、樽前山麓標高321m地点を「丸山遠見」と命名、簡易な橋建設			
8	1919	2月	烏柵舞地区住民38名、千歳村への不満から北海道長官に苫小牧町への編入請願書を提出(分村運動: 大正10年、昭和22年に再燃)→千歳村は大正12年に水明墓地の設定・水明の冬期間児童館、千歳村休泊所(後の北大生寮)設置を約束			
		5月4日	樽前山噴火			
		11月	王子製紙第4発電所完成(別表1参照)			
		この年	長都沼から支笏湖へカワエビ移植(スジエビ6升)			
9	1920	7月22日	樽前山噴火			
		この年	王子製紙第4発電所～千歳間村道開削(村道烏柵舞街道) 北海道水産試験場(道水試)千歳支場から支笏湖へ虹鱒移植ニジマスを移植(102000尾)			
10	1921	7月6日	樽前山噴火			
		10月	支笏湖巡査駐在所開設(水溜)			
		この年	千歳孵化場からニジマス稚魚(72000尾) 北海道庁、天然記念物候補地として支笏湖周辺調査			

11	1922	4月1日	山線一般客受け入れ
		7月	摂政宮(後・昭和天皇)支笏湖行啓、山線貴賓車運行、王子別邸小憩(苫小牧王子アカシア公園静態保存機)
		この年	ヒメマス保護・育成、採捕許可を得た「支笏湖保勝会」が設立されヒメマス捕獲開始。捕獲は中村組(現・菱中)漁業部。昭和元年捕獲事業官営に戻す。保勝会は昭和7年まで。活動内容は不明 ウトナイ湖からカワエビ移植(スジエビ1斗5升)
12	1923		樽前山噴火 この年4回噴火 2月21日、6月17、29日、7月13～14日
		4月	王子尋常小学校が王子尋常高等小学校になる
		この年	筏引用船「みどり丸」12ト、運航 苫小牧・国鉄錦多峰駅から樽前山登山のための「樽前山登山案内組合」結成 駅～山頂(1里18町、往復9時間、1人3円50銭) 関東大震災復興材として支笏湖周辺から正角7万石緊急伐出
13	1924	6月	千歳村全村を国立公園にとの請願書
		この年	丸山苗畑開設(苫小牧営林署管内で最も古い苗畑 北海工場跡地25×50m帯状の林間苗畑) 山線千歳川河口にトラス鉄橋架橋(支笏湖鉄橋/函館本線砂川～滝川間第1空知川橋梁(北海道官設鉄道明治32年英製)払下げ)…現・山線鉄橋=現役鉄橋道内最古 「支笏湖」を「千歳湖」に改名上申書
14	1925	この年	谷本亀が支笏湖初の動力遊覧船運行 乱獲とプランクトンの減少でヒメマスが全滅に近く、プランクトンを発生させるため、美笛・オコタン・ニナルストマナイ川に大量の農薬カリンサンを堆積し自然流出を計る。その後、ザリガニ・川蟹が全部死滅(ザリガニは昭和3年頃から消えたという説あり)(施肥1927～29年?・千歳と姫鱒) 長都沼からフナ成魚およそ100尾 択捉島得茂別湖(ウルモンベツ)から姫鱒卵移植～1926年(10万粒、放流9万尾)
15(昭和元年)	1926	10月19日	樽前山噴火 この年10月4回噴火(24、26、30日)
		10月19日	小樽新聞社機樽前噴火初空中取材(酒井憲次郎操縦「北海」1号機)
		10月22日	小樽新聞社機「北海」1号機千歳着陸(酒井憲次郎操縦)
		10月以降	阿寒湖のマリモ支笏湖へ移植
		この年	ウルモベツから紅鮭卵80万粒移植(昭和2、3、7、8、10、11、12、14、15にも移植) 千歳孵化場から虹鱒移植(稚魚2万尾)
2	1927	6月	支笏湖郵便取扱所設置(第1発電所水溜)
			ベニザケ卵80万粒(ウルモベツ湖産)
			樽前山神社奥之宮建立・木造(S29洞爺丸台風で崩壊) 苫民:1928年国から借地、1949年3月国払い下げ、1950年6月登記
3	1928	5月17日	漁村青年団御料分団、恵庭岳山頂に石碑建立(恵庭岳神社) 5月27日
		9月	樽前山噴火 この年2回噴火(9月6日、10月25日)
			ヒメマス卵10万粒(洞爺湖産)移植 ベニザケ卵70万粒(ウルモベツ湖産)
			支笏湖姫鱒孵化場改築(2014年6月解体)
4	1929		白鱒幼魚392尾(千歳鮭鱒孵化場=米国産)
5	1930		
6	1931		河鱒稚魚184280尾(千歳孵化場)
7	1932	9月	斉藤茂吉支笏湖に遊ぶ
		この年	支笏湖保勝会活動再開(観光地化に伴う保護活動目的)

			恵庭鉦山皆川愛次郎他一名により試掘権登録、試掘始まる(鉦脈発見1930年ごろ)
			ヒメマス卵20万粒(阿寒湖産)
			ベニザケ卵13万粒(扨捉、留別孵化場)
8	1933	5月	大野真澄が湖畔より20Km地点で金鉦露頭を発見(美笛・舞鶴 金鉦脈第1露頭発見) 美笛モシルンビパイ上流
		8月22日	烏柵舞道路開通式(千歳～支笏湖)
		10月1日	王子病院千歳発電所診療所開設(鈴木定一医師)～1963年8月31日閉鎖
		12月1日	樽前山噴火
			ベニザケ卵45万粒(ウルモベツ湖)
9	1934	4月2日	山線終点・上千歳～市街地間延長を王子製紙に請願(千歳村)
		10月	千歳飛行場完成
		この年	山線冬期間運行開始(11月下旬～5月上旬) 北海道を代表する景勝地18景に支笏湖が選定される 湖畔石垣防波堤完成(山線鉄橋～孵化場間) 大野真澄金鉦を中島商事に売却
10	1935	6月	4号機関車製造-小樽橋本鉄工所
		9月	中島商事・美笛金採掘開始
		10月	千歳鉦業所坑外専用軌道敷設(中村組/加藤製作所ガソリン機関車5両配置)
		この年	皇室林野局による木材直営生産開始 三〇(さんまる)通船部遊覧船第1、第2観光丸運航 千歳～中モラップ間道路完成 恵庭・光竜鉦山、藤田組藤田鉦業所が操業開始(2006年閉山)
			ベニザケ卵50粒(ウルモベツ湖産)
			千歳川ウグイ移植(未成魚250尾)
11	1936	9月	支笏湖郵便局開局(無集配3等局、水溜郵便取扱所廃止)
		10月1日	中島商事、千歳鉦山(株)創立 金採掘本格化(元山抗＝美笛坑) この頃、千歳鉦山請願巡查駐在所開設(昭和1938年から1943年は千歳鉦山巡查部長派出所)
		11月15日	樽前山噴火 この月2回噴火(11月25日)
		この年	ベニザケ卵40万粒(ウルモベツ湖産) 千歳自動車合資会社、千歳～中モラップ間バス運行 北海道漁業取締り規則によりヒメマス釣り規制(解禁区設定)、釣り期間6～9月 翠明閣(大正初期建設＝王子製紙苫小牧工場山林部宿舎)、中村組受託経営
12	1937	2月15日	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授所が美笛倶楽部2階で開校(要覧千歳25では1936年11月)
		3月27日	千歳鉦山専用線を国鉄苫小牧駅構内に敷設(山線鉦石→国鉄貨車積換用)
		10月15日	千歳鉦山尋常小学校開校(増市史では昭和10月1日)
		12月2日	千歳鉦山尋常小学校が千歳鉦山尋常高等小学校になる
		12月	支笏湖郵便局電信電話取扱開始(集配3等局昇格)
		この年	ベニザケ卵50万粒(ウルモベツ湖産) ヒメマス卵50万粒(洞爺湖産) 北海道鉄道バス千歳駅～支笏湖定期運行開始(支笏湖場バス停は山線鉄橋付近千歳川右岸)

			王子軽便鉄道交換駅・六哩駅(高丘)新設
13	1938	2月7日	美笛郵便局開設(無集配3等局)
		9月7日	日独青年交歓会・ヒットラー親衛隊ユーゲント、モーラップ宿泊
		9月28日	村道支笏湖街道が地方費道昇格、千歳支笏湖線となる
		11月	支笏湖郵便局新築移転(翠明閣横)
		この年	恵庭岳西北に日本鉱業(株)恵庭鉱業所開坑 支笏湖保勝会が「支笏湖姫鱒保護協力会」に改組 三〇通船部戦時下(支那事変)燃料不足で遊覧船運航中止 千歳鉱山福神坑開発
14	1939	10月1日	千歳海軍航空隊開庁
		12月	千歳鉱山精錬所(青化製錬所)完成(250t/日)
		このころ	千歳鉱山人口5000人以上、戸数約600戸
		この年	ベニザケ卵40万粒(ウルモベツ湖産) 恵庭鉱山本格操業(5月?) 従業員数322人 千歳鉱山警防団創設(1947年4月廃止)
15	1940	4月	美笛地区に植樹用苗畑開設
		7月	美笛郵便局局舎新築移転
		この年	ベニザケ卵10万粒(ウルモベツ湖産)
16	1941	2月6日	第5発電所完成(別表1参照)
		3月1日	国民学校制度施行
		12月8日	陸軍英領マレー敵前上陸、海軍ハワイ海戦(WW II 参戦)
		この年	丸山神社還座(1913年丸山中腹建立→丸山集落)
17	1942	1月21日	美笛郵便局電信電話取扱い開始
		2月	千歳鉱山 蒸気機関車2両新造(日本機械車輛、米ガソリン禁輸)
		3月1日	千歳鉱山募集朝鮮人(331人中34人)食糧増配要求の紛争発生
		5月1日	町制施行・千歳村から千歳町になる
		12月	千歳鉱山坑外軌道に芦別森林鉄道バグナル17号機ベアトリス入線御料林産材輸送(~1943年4月)
		秋	丸山遠見望楼建設(木造2階建・2階部分総ガラス張り、戦争末期防空監視所)
		この年	千歳鉱山坑内軌道改軌(ニチュ蓄電池機関車・508mm→500mm)
18	1943	4月1日	金鉱業務整備令実施・千歳鉱山、恵庭鉱山休山(保坑)
		8月30日	支笏湖巡查駐在所 支笏湖畔に移転(告示のみ、移転は1945年)
		この年	軍需用材増産のため陸兵230人ほか駐屯(プロペラ用マカバ) 紋別岳東斜面マカバ大量伐採
19	1944	1月1日	苫小牧町字名改稱地番整理で「丸山」新設。山線「十三マイル駅」改称「丸山駅」になる
		7月2日	樽前山噴火
20	1945	7月14日	北海道空襲。米艦載機カーチスSB2C艦爆が樽前山南東斜面7合目付近に墜落、搭乗員3名死亡・1名68日間山麓潜伏
		8月15日	ポツダム宣言受諾・敗戦 海軍第2滑走路(連山滑走路)完成
		10月5日	連合軍(米軍)小樽上陸、千歳飛行場占領
		10月	支笏湖巡查駐在所移転
		11月12日	連合軍最高司令官総司令部(GHQ)国立公園等の保護、保全を指令

21	1946	5月	仮称「道南」国立公園指定促進期成会設立（美しい自然公園年表では6月）、3月説あり
		この年	千歳川に木橋架設（人道橋/現・水翠橋）、それまでは現在の休暇村支笏湖国道入口あたりが停留所 高橋長助、釣り船13隻新造し、戦後初めて貸舟業開始
22	1947	4月	札幌土木現業所千歳出張所開設
		4月1日	御料林農林省に移管し国有林になる
		5月	恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設（支笏湖支所は北大生寮）
		9月20日	支笏湖巡查駐在所苫小牧警察署から札幌警察署管内に移管
		9月23日	千歳町役場湖畔支所設置（管轄・烏柵舞全域）1947年北大寮借上、1948年中村組配給所倉庫借上、1949年現・商店街中央、1957年現駐在所横（建設中＝ユースホステル借上、1986年支笏湖市民センター）
		12月25日	烏柵舞小学校支笏湖季節分教場を北大寮内に設置
		この年	12月 支笏湖周辺苫小牧編入問題再燃 現・翠明橋、自動車通行可能となる
23	1948	1月20日	烏柵舞小学校支笏湖季節分教場授業開始
		4月1日	苫小牧町に市制施行
		6月	米国国立公園局チャールス・リッチー国立公園指定調査
		7月	北海道中央バスが札幌～千歳～支笏湖間で運行
		10月15日	支笏湖姫鱒孵化事業協力会設立
		この年	貸船、遊覧船業者、小村開三、小野寺寿、貫田剛吉、菱中通船部、山森三郎、加藤喜久、岡部六郎、八木勝男、佐々木広見、モーラップでは山田金治郎
24	1949	1月	烏柵舞小学校支笏湖季節分教場が支笏湖小学校として独立開校
		2月18日	苫小牧市立苫小牧東小学校丸山分校開校、児童31人、校舎は営林署車庫改造
		3月	樽前山神社、樽前山神社奥宮敷地国から購入88平方m
		3月24日	支笏湖観光(株)設立、苫小牧8名・千歳21名発起人で300万円出資
		4月	烏柵舞小学校に千歳中学校烏柵舞分校併置
		5月16日	支笏洞爺国立公園指定
		5月24日	千歳観光協会(現・千歳観光連盟)設立 当時支笏湖観光協会(支笏湖姫鱒保護協力が発展)と並立していた
		7月26日	支笏洞爺国立公園指定記念式典(札幌市内)
		8月1日	支笏湖観光ホテル開業
		8月	モーラップ野営場開設(道営)
		9月10日	千歳初の観光パンフレット「観光の千歳」発行
		この年	商店地区に支所建設事務開始 米軍イチャンコッペ山頂にレーダー基地建設着工(朝鮮戦争勃発で中止) 残った骨材は高橋長助が権利を得て「松屋」(現・とんとん)建設(坂野智談)
25	1950	2月18～19日	第1回さっぽろ雪まつり
		3月	支笏湖郵便局電話交換業務開始
		4月	千歳鉦山中学校開校
		4月	王子専用バス丸山～上千歳間運行開始
		8月24日	苫小牧市道支笏湖産業道路(苫小牧～支笏湖間・現国道276号)竣工
		8月25日	苫小牧市営定期バス支笏湖線一日4往復運行

		9月23日	支笏湖畔で苫小牧歌謡発表会開催「千歳音頭」発表
		この年	千歳鉱山三菱金属鉱山(株)(現三菱マテリアル)に移管 フレナイ坑開発 千歳鉱山舩曳航用の「白銀丸」(鋼船19ト)進水
26	1951	1月29日	樽前山噴火 この年2回噴火(1月29日、7月28日)
		4月1日	苫小牧市立東小学校丸山分校分離独立し丸山小学校開校
		5月1日	字名改正・内別から千歳鉱山までの「ウサクマイ番外地」から湖畔地区を「湖畔」、鉱山地区を「美笛」、発電所一帯を「水明郷」に変更。(千歳初の地区別人口公表)旧ウサクマイ367世帯2036人、紋別24世帯104人、水明郷65世帯303人、藤の沢17世帯72人、西森一、湖畔68世帯357人、幌美内4世帯14人、美笛176世帯1147人、モラップ13世帯39人、西森・奥潭・支寒内一0
		5月10日	山線廃止(全線王子専用バス運行)
		5月	美笛に千歳町役場美笛支所設置
		6月	北海道中央バス札幌～千歳～支笏湖定期バス運行
		7月	開発建設部千歳出張所設置
		この年	苫小牧営林署船入潤(いりま 防波堤付簡易船舶繫留施設)完成 字名改正で烏柵舞小学校が水明小学校に改称 北海道漁業調整規則施行で釣り期間(6～8月)解禁区域指定(従来に美笛追加) 湖畔・地蔵尊地元有志建立 福土永治「ホームラン」開業(現・支笏荘)
27	1952	7月	千歳鉱山坑外軌道撤去、鉱石のトラック輸送に切り替える
		8月	苫小牧市営モーラップ休憩所「樽前荘」建設
		10月13日	支笏湖集団施設地区指定
		この年	樽前山神社奥宮コンクリートで建替? ヒメマス解禁期間6～8月になる
28	1953	5～7月	姫鱒孵化事業協力会硫安、過燐酸石灰をニナル川(美笛川?)に投入して施肥実施
		6月ごろ	米軍支笏湖水訓練場設置(モーラップ一の沢口) 米兵利用6月末から
		6月19日	厚生省・支笏湖にレンジャー配置・支笏湖着任、(事務所は千歳支所内)
		8月	苫小牧市営バスモーラップ線運行(湖畔～モーラップ)
		9月14日ごろ	樽前山噴火
		9月	丸駒温泉旅館土石流直撃
		9月22日	特別地域(漁岳オコタンペ地区2538 [㊦] 、湖畔地区20115 [㊦] 、美笛地区493 [㊦])・特別保護地区(オコタンペ湖地区750 [㊦] 、樽前山地区85 [㊦])指定
29	1954	3月	湖畔地区簡易上水道完成
		3月	千歳交通(千歳ハイヤー)支笏湖営業所開設
		3月30日	千歳支笏湖線 道道支笏湖公園線として路線認定
		3月30日	支笏湖産業道路 道道苫小牧支笏湖線に認定
		4月18日	支笏湖畔集団施設地区指定(自然保護官事務所では1957年10月1日)
		5月2日	樽前山噴火 この年2回噴火(11月19日)
		6月26、27日	第1回支笏湖湖水まつり開催(守屋・S26年と推測=志古津⑭) 温泉とモーラップ2会場
		9月26日	洞爺丸台風(15号)により支笏湖、樽前山一帯の森林に大被害 丸山遠見望楼被害-改築

		この年	湖畔市街地地区を農林省から厚生省に移管(4月＝宮林?)
30	1955	2月14日	樽前山噴火
		3月	北海道ユースホステル協会丸駒温泉をユースホステルに指定(道内5施設)
		7月	支笏湖ユースホステル開業(日本ユースホステル協会直営第1号/旧支笏湖小学校校舎)
		10月	苫小牧山岳会設立
		この年	樽前山神社奥之宮再建、現登山道できる
			樽前山標高空中写真測量によって修正-1042m(ドーム) 遊覧船、清和丸50名、はやぶさ丸16名、第1つばめ丸36名、第2つばめ丸24名、第1千鳥丸22名、第2千鳥丸17名、つばさ丸7名、丸駒丸38名、モーラップ丸34名、貸しボート237隻 遊覧船貸ボート業者町の指導で支笏湖観光船企業組合創設(→1958年支笏湖企業船組合→1960年事業を北炭観光に譲渡) 増市史では1961年譲渡 支笏湖観光船企業組合は道の補助金を受け、室蘭港の貨物船を支笏湖で改造し、え(ゑ)にわ丸(20t)を就航 支笏湖グランドホテル本館建設 食堂・湖月荘開業(民宿営業は1965年5月) 1957年5月?
31	1956	1月	水明中学校開校
		6月	食事と休憩まつや食堂(電話5番)、それまでの貸ボートをたたんで開業(1985年3月閉店)
		10月	紋別岳無線中継所運用開始
		この年	苫小牧観光協会「湖畔の夕べ」開催(後の千歳市主催「モーラップキャンプまつり」) 湖畔地区千歳郵便局管内になる(千歳から郵便輸送開始)
32	1957	2月	水明小学校藤の沢分校開校
		10月1日	支笏湖集団施設地区区域指定(増市史では1954年4月18日)
		この年	奥潭で初の温泉井掘削(B0 船着き場、少量自噴) 伊藤温泉ホテル開業(1978年改築) 苫小牧市道樽前山登山観光道路開設 延長6853m
33	1958	1月12日	紋別岳山麓南斜面にスキー場開設 (1962年2月21日高松宮殿下、支笏湖スキー場と命名)
		1月12日	第1回支笏湖回転スキー競技大会開催(第31回まで開催)
		6月9日	道営モーラップキャンプ場千歳町へ移管認可(移管は9月)
		6月23日	皇太子支笏湖ご遊覧
		7月1日	千歳町市制施行し千歳市になる
		11月1日	丸駒・石山間道路開通(1959年豪雨土砂崩れによって不通)
		11月12日	美笛～大滝間道路開通式
		この年	支笏オコタン荘完成 王子専用バス廃止 道内各地温泉乱掘問題続発、道林務部林政課の要請(市が一括源泉の保持にあたってほしい)を受け、市が湯元権利を取得し、供給することで市議会承認、支笏湖周辺の温泉開発に至る 支笏湖企業船組合設立(旧・支笏湖観光船企業組合、1961年北炭買収解散) 「ちとせ食堂」開業(1991年に「民宿・お食事処みずうみ」に改称) 札幌宮林局支笏湖南岸沿いの林道(支笏湖畔林道)丸山～美笛～奥潭間着工(完成1960年＝支笏湖南岸林道)

			恵庭町道・林道恵庭支笏湖線開通(丸駒～石切山道路と接続)(1961年道道光竜鉦山停車場線、1982年主要道道恵庭岳公園線に昇格)
34	1959	2月1日	水明小中学校藤の沢分校開校(王子専用バス廃止のため営林署官舎借用)
		2月	支笏湖自治消防団設置
		9月5、6日	局地的雷雨により美笛川橋梁流出及び道路決壊
		10月1日	千歳山岳愛好会設立(1980年～千歳山岳会) 前身の「千歳岳友会」設立は1954年5月 →千歳山岳連盟1969年
		この年	千歳鉦山元山・フレナイ抗休止福神沢抗のみになる
			大滝駅～美笛間道路開通?
			水明中学校藤の沢分校開設
			苫小牧市営樽前山七合目ヒュッテ開設、七合目駐車場開設
			苫小牧市営バス樽前登山線運行(バス運転手待機所→七合目ヒュッテ)
			道道支笏湖線舗装着手(現在の姿になるのはS41年)
35	1960	5月10～12日	湖で静振現象。水位上下運動20cmと高く札幌管区气象台などが現地調査
		6月	支笏湖グランドホテル本館開業(1961年夏?)
		6月	樽前山七合目ヒュッテに管理人配置。初代管理人大久保定一
		7月13日	支笏湖ユースホステル新館完成(三角屋根・日本ユースホステル協会直営第1号)
		7月	苫小牧市山岳遭難救助隊結成
		7月	樽前荘一部2階建てを総2階建てに改築
		8月4日	全国リクリエーション大会支笏湖開催
		8月	樽前山七合目ヒュッテから風不死岳登山道開設(踏み分け道を整備、標識設置)
		9月1日	愛林緑化思想昂揚記念部分林契約締結(植樹祭会場/北海道・営林局)
		11月30日	千歳市奥潭で温泉掘削、36m地点で最高45℃、110ℓ/分に成功(1151林班) オコタン・イ'号(同年B1、B2、B3掘削=ホテル利用はB2)
		11月	苫小牧市の依頼で道立地下資源調査所がシシャモナイ地区で温泉試掘調査(S36年6月にも実施)
		12月8日	水明小中学校藤の沢分校校舎新築(林野庁貸与)
		この年	支笏湖観光船企業組合は事業全てを北炭観光へ譲渡、菱中郵船部のみどり丸も北炭観光へ譲渡し、北炭観光は遊覧船部門を独立させ、支笏湖観光運輸(株)を設立 市史では1961年 苫小牧市モーラップに青少年指定キャンプ場(苫小牧営林署から単年度ごとの借地、夏休み期間中)→自由キャンプ場 王子別邸(支笏湖倶楽部)を商店街南西から原型のまま現在の温泉街北端に移転(離れ座敷増設)=移転完了はS36春 支笏湖畔道路完成(支笏湖南岸林道)
		36	1961
4月1日	丸駒～石切山道路道道認定(総延長45kmのうち15kmの幅員3.5m未満で自動車通行不可)		
4月7日	千歳市はオコタンで(1148林班)で泉源開発成功 オコタン・ロ号(B4井掘削4月25日～5月22日 ホテル利用)		
4月	札幌市、オリンピック誘致時滑降コースを恵庭岳と内定(設定・国際スキー連盟滑降回転競技委員長ウォルフガング)		
このころ	植樹行事に合わせ王子製紙が水明郷～モーラップ間受電設備設置(1962年千歳市へ寄贈)		
5月24日	両陛下を迎えモーラップ山麓で第12回植樹行事・国土緑化大会開催 支笏湖倶楽部宿泊		
6月	モーラップ野営場、厚生省国立公園整備計画で改修(電気、照明塔、上水道設備、駐車場6倍)		
7月	美笛丸(73.8ト)進水 222人 横浜で造船 全長19.65m 苫小牧港から陸送		
8月11、12日	第3回国立公園大会開催 皇太子臨席予定も天皇皇后来道からわずかなため皇族臨席なし		

		8月	モーラップ野営場の風紀乱れで苫小牧弥生中学校ポロピナイで学校キャンプ設営
		11月25日	湖畔地区電話自動化即時通話化
	この年		ヒメマス卵30万粒(十和田湖産) 樽前山山頂避難小屋設置(皇族使用を想定して展望台を兼ねガラス窓付、1980年代後半撤去) ポロピナイキャンプ場開設 道南バス洞爺湖温泉～美笛鉱山間運行開始 支笏湖グランドホテル別館建設 美笛～奥潭間道路開通(苫小牧営林署木材輸送事業林道＝支笏湖畔林道) 支笏湖観光運輸 菱中興業の遊覧船事業買収 観光運輸1社体制になる。遊覧船8隻
37	1962	3月	モーラップ地区を農林省から厚生省へ移管
		5月24日	植樹行事記念碑除幕式(植樹行事会場)
		6月7日	苫小牧山岳会フレ岳踏査・フレ沼調査
		7月	王子不動産千歳一支笏湖路線バス事業
		7月	モーラップキャンプ場風紀乱れで千歳警察署臨時交番設置
		7～8月	苫小牧山岳会 熊の沢など風不死岳未踏ルート調査
		9月	王子製紙「鈴木梅四郎翁頌徳碑」建立(千歳川第一発電所)
		9月	苫小牧山岳会 恵庭岳未踏ルート調査
		10月8日	王子製紙支笏湖王子研修会館竣工
		12月	湖畔地区に僻地診療所開設
	この年	12月	米軍支笏湖水上訓練場モーラップの沢口からシリシュットに移設 面積13000平方メートル、宿泊施設17棟(米軍キャンプ場) 支笏湖観光運輸 ボート20隻増で120隻 苫小牧山岳会恵庭岳西沢ルート開拓 3回踏破(5～6月?) グリーンホテル創業(岩倉組、→トムロッジ支笏湖、1980年に北海交通取得)
38	1963	5月	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)1万5000尾
		6月15日	湖畔千歳市営支笏湖診療所落成
		7月28日	水産庁ヒメマスとシロザケ交配種稚魚7000匹オコタンペ湖に放流
		8月1日	千歳市道支笏湖周辺道路奥潭側着工(道道札幌支笏湖線～奥潭)
		8月1日	米軍支笏湖水上訓練場、リシュット正式に日本政府(林野庁から賃借。借地料年間1万5千円 面積13435平方メートル、宿泊施設17棟(米軍キャンプ場) それ以前はクマ基地関係者が個人的に林野庁から借地
		8月31日	王子病院千歳発電所診療所閉鎖(以後3年間ほど出張診療続く)
		11月6日	国有林野内モーラップ山スキー場運営協議会設置
		10月13日	王子製紙支笏湖王子研修会館全焼
		12月15日	千歳市と苫小牧市共同出資で国設モーラップ山スキー場開設 A、B、C3コース、リフト1基(420m)
	この年		千歳市国民休暇村誘致始まる
39	1964	4月2日	千歳消防団支笏湖分団発足(9月小型動力ポンプ配備)
		5月15日	水明小学校閉校し千歳小学校藤の沢分校となる。水明中学校藤の沢分校廃止
		7月2日	湖畔～幌美内間有料道路着工
		7月15日	王子製紙支笏湖王子研修会館再建
		7月	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)4万尾

		12月27日	千歳市営支笏湖スケート場完成「スケート場開き」(現・第5駐車場、1周333m、中央にアイスホッケー場)S40年1月31日苫小牧と交流「スケート大会」約1千人参加。1971年度で終了(その後観光ホテル前広場に2年ほどリンク造成)
		この年	千歳鉦山架空索道廃止
40	1965	2月16日	40cmの降雪で美笛地区260世帯孤立
		4月	洞爺支笏湖線(現国道276号)主要道道認可
		5月	千歳鉦山の湖上輸送からバス、トラック輸送への切替
		5月24日	「樹魂碑」建立(口無沼、15号台風風倒木処理基地跡)
		6月	千歳消防団美笛分団新設
		7月23日	支笏湖畔バスターミナル完成(苫小牧市、中央バス共同出資)
		9月10日	台風23号による豪雨(美笛で2人死亡)
		この年	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)4万8720尾 千歳市山岳遭難救助隊設立(札幌地方山岳遭難対策協議会苫小牧支部から独立) 中央バス・札幌～千歳～支笏湖、千歳～支笏湖間運行 モーラップ山スキー場、オリンピックコース開設に合わせ第2リフト(550m)整備
		41	1966
4月1日	千歳小学校藤の沢分校分離独立し藤の沢小学校		
8月	道道支笏湖公園線舗装完了		
10月7日	1972年札幌オリンピック冬季大会滑降競技会場に恵庭岳決定(第3回組織委員会)		
この年	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)3万2650尾、サケ稚魚10万尾		
42	1967	1月	株式会社翠明閣設立資本金1000万円
		3月31日	水明小学校藤の沢分校廃校
		4月26日	国立公園支笏湖運営協議会設立
		5月16日	王子製紙、支笏湖鉄橋(現山線鉄橋)を千歳市に寄贈(ホテル翠明閣改装記念として)
		8月31日	第七師団レンジャー訓練モーラップで4人水死
		9月20日	支笏湖畔有料道路開通
		9月20日	道道札幌支笏湖線全線開通(=現国道453号、未舗装)
		9月	道道苫小牧支笏湖線(幌美内～丸駒)開通 現・道道丸駒線(1972年2月4日昇格)
		この年	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)1万4150尾 水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)2万280尾
43	1968	7月4日	札幌オリンピック恵庭岳滑降コース建設許可(厚生省)
		9月19日	札幌オリンピック恵庭岳滑降競技場起工式
		10月10日	奥潭でB5井掘削(10月10日～12月2日、1969年7月に追掘)
		この年	苫小牧～支笏湖間舗装完成(=道道苫小牧市支笏湖線 1970年7月国道276号に昇格) 支笏湖定期観光バス札幌まで夏季運行 道道支笏湖公園線沿い100mを千歳風致保護林に指定 支笏湖地区青年会「恵岳会」結成
44	1969	5月	支笏湖商交会設立(会長・千葉進、15人)第1回=解散時期不明
		6月15日	ホテル支笏湖鹿の湯開業
		7月1日	中央バス、札幌～ポロピナイ～支笏湖、千歳空港～支笏湖間運行 1日9往復

		7月1日	支笏湖観光運輸(支笏湖観光バス)札幌五番館～支笏湖間、湖畔～ポロピナイ・シシャモナイ間運行 1日3往復
		8月29日	ヒグマ出没第1発電所で老婆事件発生 1人死亡(吉村昭著「熊撃ち」題材)
		10月	市道支笏湖周辺道路・道道札幌支笏湖線～奥潭間道路車両通行可能になる(道道支笏湖線昇格は1970年3月31日) 11月説あり
		11月1日	モーラップ米軍支笏湖水泳訓練場、日本政府に返還
		12月20日	支笏湖青少年研修センター開設
		この年	千歳市国民休暇村誘致再開
			美笛トンネル開通(延長335m)
45	1970	1月	モーラップ山スキー場に夜間照明
		2月6日	道道支笏湖線供用開始(道道認定1970年3月31日)
		2月8日	全日本冬季競技総合大会(プレレオリンピック)滑降競技が恵庭岳で開催
		2月23日	南七条林道改線で第1縦断林道に改称(13701m)
		3月16～20日	雪害 道道洞爺支笏湖線全線不通・砥石沢で苫小牧営林署員雪崩で行方不明
		3月31日	市道支笏湖周辺道路・支笏湖畔林道が合わせて道道支笏湖線に認定
		4月1日	道道苫小牧支笏湖線、ほか3路線とともに苫小牧～倶知安間国道276号昇格
		4月7～9日	低気圧による大雨で有料道路路面決壊(6月から片側交互通行するも料金徴収せず)
		7月21日	千歳観光協会法人化認可 社団法人千歳観光連盟発足
		この年	湖畔～幌美内間第1～第6覆道建設
46	1971	2月5日～10日	札幌国際冬季スポーツ大会(プレオリンピック)滑降競技恵庭岳で開催
		5月24日	遊覧船「恵庭丸」(65.5ト)進水226人 オリンピック観戦者湖上輸送用
		7月1日	環境庁発足(2001年1月6日環境庁改組、環境省設置)
		この年	札幌から有料道路終点間舗装完了(道道札幌支笏湖線＝現・国道453号)
			札幌・支笏湖自転車道路全線開通(札幌市常盤～幌美内)
			道道札幌支笏湖線～奥潭舗装完了
			支笏湖汚染防止対策として、簡易浄化施設の設置、集水管渠路線切替?
			千歳市国民休暇村誘致改めて展開(候補地幌美内地区)
			苫小牧(丸山)～モーラップ間舗装完成
			恵庭丸226名、美笛丸222名、みどり丸85名、白銀丸50名、第1樽前丸32名、快速艇12隻、貸しボート705隻
47	1972	2月5、7日	札幌オリンピック滑降競技恵庭岳で開催(札幌オリンピック2月3～13日)
		12月	千歳観光連盟、運輸省から許可、千歳空港駐車場営業開始
		この年	丸駒温泉旅館の電話自動化
			中央バス、札幌～道央自動車道経由～支笏湖間運行
			支笏湖レイクサイドホテル開業
48	1973	7月2日	温泉管理の支笏湖観光事業共同組設立(支笏湖観光ホテル、鹿の湯、翠明閣、トムロッジ支笏湖、レイクサイドホテル)
		9月30日	支笏湖プリンスホテル火災・重軽傷者10人
		10月7日	支笏湖集団施設地区区域変更(国民休暇村建設の為)
		11月	消防団支笏湖分団に消防ポンプ車1台配置
		この年	支笏湖観光客入込200万人突破 218万5千人
			口無沼、風景林に指定

49	1974	6月	王子発電所員、苫小牧から通勤																		
		9月	千歳市消防署支笏湖分遣所新庁舎完成																		
		9月	支笏トンネル完成(995m)																		
		10月	ヒメマスに尾ぐされ病(水カビ病)が発生し、大量に岸に打ち上げられる(原因不明) (別表2参照)																		
		別表2																			
		<table border="1"> <tr> <td>1974</td> <td>尾ぐされ病発生</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>全面禁漁(内水面魚場管理委員会指示)</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>6、7月解禁(委員会指示)</td> </tr> <tr> <td>77</td> <td>6～8月解禁 尾ぐされ病再発</td> </tr> <tr> <td>78</td> <td>7、8月禁漁、6月のみ解禁、釣竿1人2本制限(委員会指示)</td> </tr> <tr> <td>79</td> <td>6～8月の3ヶ月間禁漁(内水面魚場管理委員会指示)</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示)</td> </tr> <tr> <td>81</td> <td>全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示) 支笏湖漁業組合設立</td> </tr> <tr> <td>82</td> <td>撒き餌禁止 釣竿1人2本制限(委員会指示)</td> </tr> </table>		1974	尾ぐされ病発生	75	全面禁漁(内水面魚場管理委員会指示)	76	6、7月解禁(委員会指示)	77	6～8月解禁 尾ぐされ病再発	78	7、8月禁漁、6月のみ解禁、釣竿1人2本制限(委員会指示)	79	6～8月の3ヶ月間禁漁(内水面魚場管理委員会指示)	80	全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示)	81	全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示) 支笏湖漁業組合設立	82	撒き餌禁止 釣竿1人2本制限(委員会指示)
		1974	尾ぐされ病発生																		
		75	全面禁漁(内水面魚場管理委員会指示)																		
		76	6、7月解禁(委員会指示)																		
		77	6～8月解禁 尾ぐされ病再発																		
78	7、8月禁漁、6月のみ解禁、釣竿1人2本制限(委員会指示)																				
79	6～8月の3ヶ月間禁漁(内水面魚場管理委員会指示)																				
80	全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示)																				
81	全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示) 支笏湖漁業組合設立																				
82	撒き餌禁止 釣竿1人2本制限(委員会指示)																				
10月17日	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設																				
50	1975	4月30日	支笏湖畔に温泉(第1泉源)・通湯式、湧出39℃純重曹泉(天然ガス加盟5ホテル使用開始)																		
		5月18日	HBCテレビ「うちのホンカン」シリーズ放映開始～1981年12月(大滝秀治、八千草薫出演)全6作。支笏湖舞台は「ホンカンがんばる うちのホンカン-PART II-」(1976年10月19日)、「嘆きのホンカン うちのホンカン-PART III-」(1976年7月11日)、「冬のホンカン うちのホンカン-PART IV-」(1977年3月13日)																		
		6月1日	支笏湖自然の村開村(6～9月) オリンピック跡施設																		
		6月1日	支笏湖ヒメマス水カビ病発生で全面禁漁～1978年																		
		10月	「休暇村連絡橋」完成→「湖畔橋」 休暇村園地周遊道路(130m2本、250m1本)完成																		
		この年	支笏湖野鳥の森開設 千歳市・ポロピナイ休憩所設置(支笏湖観光センター)																		
51	1976	6月4～9日	風不死岳ヒグマ出没、風不死事件発生(4、5日2人重傷、9日2人死亡1人重体)																		
		6月13日	恵庭岳ポロピナイ登山口に安全登山祈願碑建立除幕式(元御料青年団有志/記念式典・プリンスホテル) 第1回山開き																		
		9月27日	支笏湖畔国民休暇村着工式																		
		この年	湖畔の地蔵尊支笏湖老人クラブ清掃と法要ボランティアで始める																		
52	1977	4月	第1回支笏湖湖水開き、メイン行事・地元青年4人の「歴史の再現いかだ流し」=松浦武四郎「夕張日誌」記述の奥潭→湖畔筏渡り(これまでは6月1日に安全祈願祭のみ)																		
		7月23日	国設美笛野営場開設(苫小牧営林署が開設し、市が管理受託)																		
		8月	有珠山噴火																		
		9月19日	支笏湖畔国民休暇村開業(全国28番目、道内初) 開村式は9月25日までの間 事業費3億6000万円(付帯工事含)																		
		9月	支笏湖自然の村廃村決定(3年間利用者4962人、1978年解体)																		
		10月16日	第1回支笏湖紅葉まつり開催 人出2万人																		
		10月30日	千歳市立鉦山小・中学校閉校																		
		11月15日	千歳鉦山職住分離完了(雇用促進住宅真町宿舎入居)																		
		11月30日	美笛支所廃止																		

		12月	千歳消防団美笛分団廃止		
		12月21日	道道丸駒線供用開始		
53	1978	1月11日	千歳消防団美笛分団解団式		
		2月、3月	支笏湖全面結氷 1953年以来		
		3月31日	千歳鉦山小中学校廃校		
		4月25日	支笏湖ヒメマス釣魚対策協議会設立総会		
		5月14日	樽前山小噴火(A火口から火山灰噴出、山腹に降灰、22時53分～23時36分 苫小牧測候所) この年7回小噴火(5月17日、8月8日、12月12日、12月16日、12月26日、12月29日)		
		6月1日	ヒメマス解禁日、強風で釣り船6隻転覆1人死亡1人不明		
		6月21日	CBSソニー・ラブリーズ「紅すずらんの伝説」発売・平尾昌晃作曲		
		8月17日	環境庁の依頼で斉藤實、苔の洞門コケ調査		
		10月15日	美笛郵便局閉鎖		
		54	1979	1月30日	第1回千歳・支笏湖水濤まつり開催～2月11日(竹中敏洋氏指導) 滑り台の氷は口無沼から切り出し
1～5月	樽前山小噴火 4月樽前山登山規制、5月登山禁止				
4月	支笏湖神社現在の場所に遷す。最初は山線鉄橋南側の崖を登った中間地点にあったが1957年に海軍航空隊の社殿を譲り受けて旧ビジターセンター横広場に遷された				
7月1日	自然公園美化管理財団支笏湖支部設立				
7月25日	支笏湖畔駐車場有料化(環境庁所管地のみ)				
10月	苫小牧市営林署美笛川右岸苗畑(美笛事業所)閉鎖 11.4ha				
この年	丸山遠見望楼新築(木造4階建高さ13m) 中央バス、札幌～ポロピナイ～支笏湖～千歳空港間運行 モーラップキャンプ場失火 イチャンコッペ山反射板設置(北海道開発局) 松竹「男はつらいよ 翔んでる寅次郎」シリーズ第23作公開 (渥美清、倍賞千恵子、マドンナ=桃井かおり)ロケ地・支笏湖				
55	1980			4月1日	千歳山岳会設立
				4月18日	紋別岳林間スキー場基礎調査結果公表 林間コース、ポロピナイへのツアーコース、ロープウェイ、展望台など
				5月1日	支笏湖自然科学館(支笏湖ビジターセンター)開設
		5月	北海交通支笏湖北海ホテル開業(トムロッジ支笏湖を買収)		
		12月	モーラップ山スキー場に人工降雪機導入		
		この年	環境庁支笏湖自然保護官事務所建設 千歳市美笛苗畑跡地利用計画まとめる 苫小牧営林署「七条大滝」命名 高16m、流幅2.3m、流量12493立方メートル/日 コープさっぽろ(協同観光)レイクサイドホテル買収同じ名称で営業開始		
		56	1981	2月27日	樽前山小噴火
2月	第1回モーラップ山スキー場まつり				
7月1日	支笏湖ユースホステル新築営業開始				
8月	2度の豪雨で有料道路欠壊など被害(五六台風)				
11月	自然探究路整備完了(湖畔～モーラップ)				
11月	ママチ川ヒメマス養殖施設完成(千歳市泉沢養魚場)				

		この年	滝笛環境資源振興協議会発足(苫小牧営林署の苗畑閉鎖に伴い、跡地利用について打診あり、検討) 支笏湖ヒメマス保護協力会解散、支笏湖漁業組合設立
57	1982	3月31日	苫小牧市立丸山小学校閉校
		4月26日	千歳市泉沢養魚場(チップの里)開場 ヒメマス供給のため
		6月1日	ヒメマス釣り3年ぶり解禁
		9月14日	国道276号滝笛トンネル貫通式(1545m) 美笛峠新ルート開通は1984年10月
		この年	支笏湖小学校新(現在)の校舎完成
58	1983	7月1日	樽前山登山規制解除(1979年5月から禁止)
		8月10日	支笏湖下水終末処理場(支笏浄湖苑)通水式
		10月	苔の洞門に仮設駐車場
		この年	支笏湖グランドホテル休業 道設支笏湖紋別岳鳥獣保護区、同特別保護区設定 紋別岳の北東斜面地425㍍、このうち頂上北側の49㍍が特別保護区(2003年3月更新、次回更新2022年9月30日)
59	1984	1月	氷濤まつり氷像著作権問題顕在化(著作権者・竹中敏洋)
		3月19日	苔の洞門運営協議会設立
		4月14日	支笏湖畔有料道路無料化
		5月27日	道道支笏湖公園自転車道線全線開通
		10月5日	国道276号美笛峠新ルート開通
		10月24日	千歳市内電話番号2桁移行
		11月	休暇村園地展望台完成
		この年	第3セクター滝笛環境資源振興協議会設立
		60	1985
11月1日	苫小牧営林署支笏合同担当事務所新築披露		
11月	苫小牧市営バス樽前登山線廃止		
この年	「美笛国際森林レクリエーション事業構想」市策定 このころ美笛食堂(旧・千歳鉱山配給所)開店		
61	1986	2月24日	千歳鉱山休山式
		3月29日	支笏湖市民センター(湖畔支所→支笏湖支所)竣工
		4月20日	道内初の2階建てログハウス・「ログベア」オープン
		4月20日	「湖畔」から「支笏湖温泉」に字名変更
		6月1日	中央・道南バス直行バス(新千歳空港～美笛～洞爺湖温泉)運行
		8月24日	風不死岳大沢で苫小牧の女性F2で滑落死(上流から下へ2つ目の滝)
		10月	恵庭岳オリンピック顕彰碑維持管理問題顕在化(1987年10月千歳市スポーツセンターに移設)
		この年	このころ樽前山に非固有種コマクサ違法移植
62	1987	9月13日	第11回全国育樹祭お手入れ行事開催(支笏湖・モラップ) 皇太子殿下妃殿下出席
		この年	環境省、公共水域水質測定結果初公表 支笏湖日本一(1987、1992、1993、1995、1999、2000、2002、2005、2007～2014) 「美笛国際森林レクリエーション事業構想」から「支笏湖国際コンベンション・リゾート構想」に名称変更し、大規模開発を図る 国際会議場構想

			山陽国策パルプ(現日本製紙)健康保険組合「支笏湖畔荘」開設 岩倉建設トムロッジ支笏湖買収から購入 苔の洞門 駐車場整備とコケ養生で開放なし
63	1988	1月	「支笏湖の水とチップの会」発足
		10月10日	支笏湖紅葉まつり中止 代役で観光運輸初の大入袋発売(5000円) 昭和天皇9月19日病状悪化に配慮して全国的にイベント自粛
		この年	支笏湖温泉～幌美内間第7覆道建設
64(平成元年)	1989	6月28日	北海道さけますふ化場千歳支場新庁舎落成
		10月3日	国道276号モラップ切替開通
		この年	モーラップ山スキー場老朽化でリフト運休(H2からロープトローで営業) 美笛食堂(旧・千歳鉱山配給所)廃業 苔の洞門に臨時公衆電話設置
2	1990	3月16日	スウェーデン国王丸駒温泉宿泊
		4月10日	支笏湖商交会再立ち上げ(2回目)
		4月11日	支笏湖観光船レストハウス増築新装オープン
		7月	北海道営林局「森林倶楽部」イベント「樽前山麓の滝めぐり」のため七条大滝歩道整備(含・丸山遠見の滝)
		8月1日	支笏湖小学校、支笏湖周辺美化活動で環境庁長官賞受賞(1989年＝全国森林レクリエーション協会会長表彰、1988年＝北海道知事賞)
		9月	旅亭「あしり支笏湖」営業開始
		12月1日	樽前山車馬等乗入規制地区指定
		この年	「支笏湖国際コンベンション・リゾート構想」を「支笏湖美笛地区自然環境整備利用計画」に名称変更。その後、反対意見があり、構想を中止
3	1991	2月	気象庁恵庭岳を活火山に指定
		3月29日	支笏湖診療所新庁舎落成
		4月	自然研究路、休暇村～モーラップ間整備完了2.5*。 ?
		8月1日	消防署支笏湖温泉分遣所、出張所昇格
		この年	紋別岳道路ロードヒーティング設置
4	1992	5月	樽前山七号目ヒュッテ駐車場公衆トイレ新設
		8月5日	第34回自然公園大会開催 常陸宮殿下同妃殿下出席(丸駒温泉宿泊)
		9月	支笏湖グランドホテル廃止、解体始まる。植栽返地は1993年
		この年	恵庭鉱山休山? 樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業開始
5	1993	4月1日	道道札幌支笏湖線国道453号に昇格
		4月1日	休暇村モーラップキャンプ場管理千歳市から受託
		11月1日	支笏湖ヒメマス移植100年・養殖ヒメマス出荷10周年記念祝賀会開催
		12月1日	苫小牧市営バス支笏湖線、中央バスに移譲(2001年休止、2002年廃止)
		この年	「支笏湖美笛地区自然環境整備利用計画」の一部として、「千歳市野営場整備計画」を策定
6	1994	1月	現・支笏湖温泉第5駐車場トイレ改築
		1月	幌美内に現在のトイレ設置(開放は4月) 旧トイレは1980年設置
		4月	温泉街歩道カラーブロック化完成

		9月10日	千歳市サーモンパーク「千歳サケのふるさと館」開館
		12月5日	水産庁さけ・ますふ化場千歳支場「さけの里ふれあい広場」開設記念式
		この年	温泉街商店街周囲に排水溝設置 モーラップ山スキー場休止
7	1995	2月	支笏湖温泉西側園地展望台完成
		3月	支笏湖温泉中層市営住宅完成 入居受け付けは3月15日から
		4月	モーラップ自由キャンプ場進入規制実施
		5月	樽前山火口原内のケルン撤去(1996年9月にも実施)
		7月	東宝「キャンプで逢いましょう」公開、後藤久美子主演、ロケ地美笛キャンプ場 10月7日公開
		8月21日	支笏洞爺地域の公園区域及び公園計画見直(再検討)、支笏湖集団施設地区区域変更 1953年? 指定以来(支笏湖地区面積29344→29852㍊)
		9月5日	王子軽便鉄道4号機関車帰郷式(静態保存・苫小牧王子アカシア公園)
		9月8～10日	「支笏湖の水とチップの会」・高知大湖最深部調査(96年にも実施)
		10月14日	ヒメマスフォーラム開催
		12月	温泉街に身障者用電話ボックス設置(千歳市内2カ所目)
		この年	美笛キャンプ場、苫小牧営林署から千歳市へ譲渡
8	1996	1月	初めて氷濤会場で氷像制作過程を写真パネルで紹介
		4月1日	北海道営林局漁岳周辺地域森林生態系保護地域設定
		4月1日	「支笏湖畔国民休暇村」が「休暇村支笏湖」に呼称変更
		4月14日	支笏湖温泉初の身障者用ブース備えたトイレ開放(中央トイレ・通称丸駒トイレ)
		6月8日	苔の洞門開放安全対策で1週間遅れ(入口左岸壁崩落)危険防止の延期は初めて(ダイナマイト、ドリルで危険箇所除去)
		9月21日	恵庭岳ポロピナイ沢25年ぶりに大規模土石流(前回1971年)
		10月14日	温泉街国道453号横断歩道に温泉街初の押しボタン式信号機設置
		11月1日	千歳市の魚制定(ヒメマス、サケ)
9	1997	5月30日	「千歳市民の力で育てる支笏湖の森林」行事で休暇村と湖畔にエゾヤマザクラ50本植樹
		8月10日	恵庭岳ポロピナイ沢で土石流発生 この年2回発生(9月27日)
		10月7日	ラルマナイ林道改良完成し道道恵庭岳公園線ルート切り替え
		10月	道道支笏湖線国道276号～美笛キャンプ場分岐間舗装
		11月	美笛沖、マグロの頭騒動(釣りのため? →回収廃棄)
		11月	道道支笏湖線美笛～奥潭間土砂崩で通行止め
		11月22日	「山線鉄橋」開通式(1995年から旧・支笏湖鉄橋解体修理)
		12月3日	千歳市支笏湖支所開設50周年を祝う会
		この年	千歳市道湖畔1号道路改修(元王子製紙管理道路453号へ直結) 完成は1998年 モーラップキャンプ場千歳市から環境庁へ移管休暇村支笏湖運営?
10	1998	2月	高知県南国市奈路小学校児童支笏湖小初訪問「雪国体験」(6月に支笏湖小児童奈路小訪問) =交流は1996年から
		4月	休暇村温排水公共下水道と接続、温泉地区排水完全処理完了
		5月	道道支笏湖線美笛～オコタン間落石と土砂崩れのため通行止め
		8月11日	千歳市ヒメマスふ化場開設(水産庁より譲渡)
		この年	国道453号札幌～幌美内24時間通行可

			美笛キャンプ場リニューアル完了(3カ年度計画)
11	1999	1月	支笏湖レイクサイドホテル休業(2001年11月解体)
		3月26日	支笏洞爺国立公園指定50周年事業開催のため「支笏洞爺国立公園連絡協議会」設立、関係16道市町村 事業終了後は情報、意見交換の場となる
		7月10日	支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム開催
		7月30日	千歳川放水路計画中止決定
		8月24日	山線鉄橋千歳市有形文化財指定
		9月	カフェ・アウル開店
		10月	ポロピナイ沢治山工事完成 ダム20基、空堀水路
		この年	休暇村遊歩道「ウッドファイバー舗装」978m 山線鉄橋への階段改良 休憩舎、東屋新設
12	2000	2月9日	樽前山火山防災会議協議会(=樽防協、事務局・苫小牧市)設立
		3月31日	有珠山噴火
		4月	休暇村園地建て替え2階建展望台開放、休暇村リニューアルオープン(4月27日)
		4月	ホテル翠明閣休業
		4月26日	支笏湖美化センター開館
		9月	緑のダイヤモンド計画(自然公園核心地域総合整備事業)基本計画策定・公表
		9月28日	「支笏湖畔バスセンター」営業終了
		この年	日本製紙健康保険組合「支笏湖畔荘」閉鎖(1987年開設)
13	2001	2月1日	発達した低気圧の影響で大雪、国道453号温泉～幌美間で16カ所雪崩(直接原因は斜面のシカ横断)
		2月	支笏湖全面結氷 23年ぶり(2月15日～4月10日?)
		3月	自然公園核心地域総合整備事業(緑のダイヤモンド計画)基本計画公表
		3月	樽前山火山防災マップ作成(樽防協)
		3月16日	支笏湖小学校卒業式、児童自主制作+崔洋一監督編集指導「支笏湖の宝物」上映
		4月2日	千歳市消防署支笏湖温泉出張所新築落成
		4月	支笏湖温泉農水省所管地環境省へ所管替え
		6月5日	苔の洞門岩盤崩落発生全面閉鎖
		7月1～3日	支笏湖小学校児童TV「モグモグゴンボ」収録で沖縄県池間島池間小学校訪問。02年2月24、25日池間小児童支笏湖訪問
		8月10日	恵庭岳山頂部登山規制(2013年に自粛要請になる)
		10月11日	緑のダイヤモンド計画温泉地区整備、駐車場改良に着手
		10月15、16日	支笏湖で初のブラックバス調査(道立水産ふ化場)
		12月	小野寺昌道さん支笏湖新確認のヌマチチブ、オヒルムシロ環境省へ報告
		秋	丸山遠見望楼新築(4代目) 道産杉材使用
この年	樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業紋別岳中継局完成 モーラップ山スキー場閉鎖確定		
14	2002	1月5日	支笏湖まちづくりプロジェクト結成
		2月	旅亭あしり休業(6月定山溪第一ホテルへ譲渡)
		2月20日	支笏湖漁業組合設立20周年記念講演会と祝賀会開催
		5月15日	樽前山火山防災会議協議会「樽前山火山防災計画」策定
		5月	樽前山より噴出物を確認(5月)

		6月1日	支笏湖ビジターセンター改築のため休館
		7月1日	自然公園美化管理財団支笏湖支部が自然公園財団支笏湖支部に改称(支笏湖美化センター→支笏湖パークハウス)
		7月20日	苔の洞門入口に観覧台設置・暫定開放始まる
		8月6日	米軍キャンプ場跡地閉鎖ゲート設置
		9月	樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業美笛中継局完成
		9月1日	支笏湖第一寶亭留翠山亭オープン
		11月28日	奥潭の無許可棧橋放置資材札幌土現千歳出張所撤去
		この年	氷濤まつり会場で氷濤あめ新発売(当初500個、追加2000個) 支笏湖地域花調査グループ(佐々木幸夫代表)支笏湖温泉園地と野鳥の森園路、紋別岳調査(2003年ガイドマップ『支笏湖の草花、木の花』作成)
15	2003	1月	苫小牧市道モラップ1号線氷濤まつり期間中開放始まる
		2月	国道453温泉～幌美内間のポロピナ覆道完成
		3月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター閉所
		4月	「緑のダイヤモンド計画」親水広場開放(山線鉄橋南側元千歳鉱山支笏湖東埠頭スベリ) 完成は2002年11月
		4月26日	奥潭で山菜取りの男性(70)転落死
		5月	千歳の自然保護協会・美笛巨木の森調査 幹周1m以上巨木54本 最大幹周233cmハルニレ
		5月	支笏湖観光センター太平山碑に社建立
		7月5日	支笏湖ビジターセンターリニューアルオープン
		7月	樽前山より噴出物を確認
		9月2日	支笏湖自治振興会「自主防災会」結成
		9月14日	台風14号による倒木がテントを直撃し美笛キャンプ場で1人死亡、2人負傷
		9月	苔の洞門ネイチャーセンター完成(開放は2004年6月から)
		9月20日	「しこつ湖自然体験クラブ・トウレップ」設立
		11月	千歳市、紋別岳～イチャンコッペ山トレッキングルート調査
		11月	加森観光が三井観光開発から支笏湖観光運輸の全株取得
		この年	樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業モラップ中継局完成、札幌土現千歳出張所監視支局設置
16	2004	1月	支笏湖まつり実行委員会氷濤まつり会場で「感動支援金」呼びかけ始める
		2月	消防署支笏湖温泉出張所に救急車配備
		3月	丸駒温泉旅館大浴場改修工事のため3月1日から45日間休業(4月21日再開)
		8月1日	NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ活動開始
		9月8日	台風18号支笏湖周辺森林大被害・支笏湖温泉孤立、停電
		10月	苫小牧測候所無人化
17	2005	1月6日	環境省発足
		1月	国道453温泉～幌美内間のモンベツ覆道完成
		3月15日	支笏湖青少年研修センター閉所式(1969年12月開所)
		3月20日	恵庭岳北尾根で雪崩1人重傷
		4月10日	支笏湖水中遊覧船運航(営業)開始(支笏湖観光運輸)「エメラルド」(18ト)、 「サファイア」(17ト)
		6月25日	道の駅「サーモンパーク千歳」オープン
		8月	特定外来生物ウチダザリガニ確認 小野寺昌道

		11月下旬～12月29日	支笏湖地区でエゾシカ有害駆除始まる		
18	2006	2月	公園計画変更・支笏湖動力船規制要綱発表(環境省2月20日公示) 千歳市の動力船規制承認船受付3月15日～4月20日		
		2月19日	千歳山岳会氷濤まつり会場でアイスクライミング披露		
		3月	恵庭・光竜鉦山閉山		
		4月16日	支笏湖観光センター(ポロピナイ休憩所)火災により閉鎖		
		5月	自然公園財団支笏湖支部アライグマ捕獲調査始まる～2012年2月		
19	2007	3月	千歳市泉沢養魚場休止(日本海さけ・ます増殖事業協会飼育施設になる)		
		4月	支笏湖温泉地区活性化協議会(福永郷正会長)発足		
		5月20日	モーラップ全国植樹祭の森47年目の記念植樹		
		7～10月	支笏湖地区で特定外来生物オオハンゴンソウ駆除始まる		
		10月23日	支笏湖漁業協同組合設立総会		
		11月	王子製紙千歳川第1～5水力発電所・山線4号機関車経済産業省「近代化産業遺産」認定		
		この年	カフェ&レストラン美里開店		
			国土地理院電子国土基本図修正 モシルン美笛川(修正前-美笛川)、ソウオン美笛川(修正前-モンルウン美笛川) 美笛川はフレ岳からの名無沢を含め千歳川と改称(美笛川改称年不詳)		
		20	2008	3月1日	支笏湖漁業協同組合に北海道知事より漁業権が免許される
				3月31日	支笏湖商交会解散(2回目)
4月	鶴雅観光開発「支笏湖観光ホテル」を買収				
4月1日	環境省支笏湖地区初の女性保護官着任・柳谷牧子				
4月27日	支笏湖観光センター(ポロピナイ休憩所)建て替えオープン				
5月	ガソリンスタンド新北光石油支笏湖ステーション閉店(1968年千歳の業者設置、1978年同社引き継ぐ)				
5月	環境省・モーラップ地区園地整備完了				
6月29日	支笏湖いかだ渡りプロジェクト 1977年4月以来				
7月1～10日	ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖開催				
7月8日	北海道洞爺湖サミット				
8月1日	レイクサイドヴィラ翠明閣オープン(王子製紙翠明閣経営権丸駒温泉旅館譲渡は2008年3月)				
11月1日	支笏湖北海ホテル冬期休業				
この年	ポロピナイキャンプ場今年度で閉鎖決定				
秋	支笏湖漁業協同組合ヒメマスほっちゃんれ「秋ひめ」と命名				
21	2009	1月28日	支笏湖小学校・石狩森林管理署「遊々の森」協定締結		
		1月	千歳・支笏湖氷濤まつり開催期間を25日間から17日間に短縮		
		5月15日	千歳ニッツウサービス支笏湖給油所オープン		
		5月15日	しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の調オープン		
		6月20日	支笏湖いかだ渡り大会		
		7～9月	苔の洞門モニターツアー(～2012年度まで)		
		8月1、2日	支笏湖洞爺国立公園指定60周年記念行事開催		
		9月11日	支笏湖自然保護官事務所改築開所式(旧事務所1980年建設)		
		11月26日	北海道地方環境事務所「天皇陛下御在位20年記念植樹」、VC前・園地などにキタコブシ3本		
		11月末	食堂・湖月荘閉店		

22	2010	4月11日	湖水開きに合わせ「温玉ライス」提供始まる。提供に関する調印式
		5月22日	日本、中国、韓国の3カ国環境大臣会合(しこつ湖鶴雅リゾートSPA 水の譚)
		11月	支笏湖北海ホテル全面休業
		この年	有料体験イベント温泉旅館組合「支笏湖体験物語」始まる(前身・休暇村支笏湖「体験物語」、2009年実施) 支笏湖観光運輸、高速モーターボート丸駒温泉、伊藤温泉、オコタンへの乗合運行休止
23	2011	1月	12月31日～1月22日真冬日連続
		3月11日	東日本大震災(14時41分)震度＝支笏湖温泉2、千歳4) 支笏湖で水位変化(14時248.37m、15時248.45m、16時248.41m、17時248.36m): 静振?
		4月1日	千歳観光連盟 一般社団法人化
		6月7日	風不死岳活火山に認定(火山噴火予知連絡会)
24	2012	4月20日	千歳観光連盟周遊自転車ビジターセンターにて貸出開始
		5月	「支笏湖ガイドハウスかのあ」営業開始(営業届けは2011年4月)
		7月10日	支笏湖駐在所改築開所式
		11月1日	支笏湖温泉旅館組合が札幌支笏湖間に無料シャトルバス運行(名湯ライナー) ～4月30日
		12月6日	30年ぶりの増水と低気圧強風により支笏湖各所で被害 貫田棧橋など破損
25	2013	1月	しこつ湖鶴雅リゾートSPA水の譚が支笏湖北海ホテルを取得
		1月	千歳・支笏湖氷濤まつり開催期間を25日間に延長
		1月	1月1日～24日真冬日連続24日間
		3月5日	新泉源湧出(第2泉源/ナトリウム-炭酸水素・塩化物泉)33.2度、510ℓ/分(動力揚湯)
		4月	いとう温泉が鬼怒川金谷ホテルに経営譲渡(含・プリンスホテル跡地)
		11月2日	恵庭岳ポロピナイ沢・札幌の女性滑落死
		11月	イチャンコッペ山反射板撤去(南北2基、北海道開発局)
26	2014	1月1日	樽前山で苫小牧の男性吹雪で不明(道迷・2日無事発見)
		2月25日、27日	酪農学園大ほか、国道453号温泉～幌美内間閉鎖して初のエジシカシャープシューティング(学術捕獲)2日間で12頭
		4月1日	消費税8%
		4月6日	苫小牧の男性山菜取紋別岳で転落死
		4月13日	第2泉源開湯式(湖水開き)
		5月4日	亀田商店(自販機ショップ)開店
		5月8日	オーシャンデイズ開店(支笏カムイゲストハウス開店7月、パン販売8月)
		6月	千歳市支笏湖ヒメマスふ化場解体(1928年建築) 新築工事着工
		7月	貫田棧橋跡にボート事業者「支笏湖中央ボート」開業
		8月	自然公園財団支笏湖支部木下所長企画の支笏湖オリジナル包装紙千歳市立図書館が郷土資料として保存
		9月9～12日	豪雨、3日間の総雨量380mm 苔の洞門第1・第2入口崩落、国道453号ポロピナイ沢、恵庭岳西沢など土砂流出で通行止(9月11日、温泉地区住民に避難勧告)
		10月11日	藤の沢でヒグマに襲われ男1人重傷(人身事故は1976年風不死事件以来)
		12月19日	千歳市支笏湖ヒメマスふ化場新築落成(12月25日開場式)
27	2015	4月1日	「千歳サケのふるさと館」が「サケのふるさと 千歳水族館」に改称(リニューアルオープン7月25日)
		4月25日	札幌の男性山菜紋別岳沢で滑落死(発見・26日)
		5月6日	カフェ&レストラン美里閉店 「支笏湖ガイドハウスかのあ」買収して5月9日入居

6月27、28日	第65回湖水まつり、これまでの7月中から開催日を早めて開催
7月	一休店舗跡に「昭和物産」(食堂)開店
9月11日	2014年9月豪雨で路肩崩れの千歳市道湖畔1号線開通
10月8日	台風23号(温帯低気圧)の暴風による倒木各所で多発、温泉街孤立～9日朝
11月25日	支笏湖ビジターセンター入館者600万人
12月25日	丸駒温泉旅館、協力会・エーデルワイスの会創業100年記念で千歳市へ100万円寄付(創業100年は12/30)

この歴史年表は、千歳市史編集委員会の守屋憲治専門部員の全面的な協力でまとめることができました。今後さらに修正、加筆が必要とされます。今後、新たな修正・加筆は随時行い、その結果は毎年、皆さんに公開する考えです。加筆、修正が必要とされる事項等があった場合、自然公園財団支笏湖支部・先田までご連絡くださるようお願いいたします。

E-mail: sakita@cocoa.ocn.ne.jp